

2009年秋のタカの渡り多点観察結果

2009年は9月20日(日)に、県内8か所でタカの渡りの一斉観察を行いました。加えて、熱心な観察者からその前後の記録が寄せられましたので、ここにまとめて報告します。

この間(9/8~10/11)、サシバ61羽、ハチクマ7羽、ノスリ10羽、ツミ4羽、ハイタカ4羽、オオタカ7羽、ハヤブサ、チュウヒ、

トビ各1羽、タカSp2羽、計98羽のタカの仲間の渡りを確認しました。(表1、2)

9月20日の一斉観察日は各地で晴となりましたが、風が強く期待外れに終わりました。5か所で確認されたタカの仲間の渡りは、サシバ22羽、ハチクマ4羽、ノスリ3羽、ハイタカ、オオタカ、トビ各1羽、計32羽でした。

表1 観察地と観察時間及び天気(2009年秋)

No.	観察地	市町村	月日	観察時間	天気	観察者・数
1	牛伏山	高崎市	9/20	9:30~12:00	晴	葛生淳一・25
3	大室公園	前橋市	9/20	9:00~12:00	晴	小林広喜・13
4-1	笠懸運動公園	みどり市	9/16	11:20~13:20	晴	水野博品・1
4-2	〃	〃	9/20	9:00~12:00	快晴	〃・5
4-3	〃	〃	9/23	10:30~12:30	薄曇り	〃・1
4-4	〃	〃	9/24	10:00~12:00	晴	〃・1
5	城沼	館林市	9/20	8:00~12:00	晴	松本文勝・11
6	桜山	藤岡市	9/20	9:00~12:30	晴	鈴木正利・6
7-1	坂東大橋	埼玉県本庄市	9/11	8:00~11:30	曇り後快晴	小茂田英彦・1
7-2	〃	〃	9/13	7:20~11:30	晴	〃・1
7-3	〃	〃	9/19	8:00~12:00	曇り	〃・1
7-4	〃	〃	9/20	7:20~12:00	快晴	〃・1
7-5	〃	〃	9/21	7:20~11:40	曇り	〃・1
7-6	〃	〃	9/22	7:40~11:40	曇り	〃・1
7-7	〃	〃	9/23	8:00~12:00	曇り	〃・1
7-8	〃	〃	9/26	8:00~11:40	曇り	〃・1
7-9	〃	〃	9/27	8:00~11:40	曇り	〃・1
8	総合公園	渋川市	9/20	9:00~12:00	快晴	飯塚博文・8
	八王子山親水公園	太田市	9/8	10:30~12:30	快晴	金子 正・1
	〃	〃	9/13	9:00~12:00	快晴	〃・3
	〃	〃	9/16	9:20~12:30	快晴	〃・3
	〃	〃	9/19	10:20~12:40	曇り	〃・1
	〃	〃	9/20	9:00~12:30	快晴	〃・3
	〃	〃	9/27	9:10~12:00	快晴	〃・1
	〃	〃	10/10	10:20~12:30	快晴	〃・1
	〃	〃	10/11	10:10~12:30	快晴	〃・1
	藤川・石打	邑楽町	9/14	9:55~11:54	曇り	堀口忠男・2
	創造の森	〃	9/21	10:09~11:51	曇り	〃・2
	〃	〃	10/3	10:15~11:32	小雨後曇り	〃・2

表2 タカ類の観察数 (2009年秋)

月日	No.	観察地	サシバ	ハチクマ	ノスリ	ツミ	ハイタカ	オオタカ	ハヤブサ	チュウヒ	トビ	タカsp.	計
9/8		八王子山親水公園	1										1
9/11	7-1	坂東大橋	1	1									2
9/13	7-2	〃				1							1
		八王子山親水公園	2				1	2					5
9/16		〃	5	1		1		1					8
9/19	7-3	坂東大橋										1	1
		八王子山親水公園	13		1								14
9/20	1	牛伏山	8	1	1						1		11
	4-2	笠懸運動公園			1								1
	5	城沼	8										8
	7-4	坂東大橋		2									2
		八王子山親水公園	6	1	1		1	1					10
9/21	7-5	坂東大橋										1	1
9/22	7-6	〃		1									1
9/23	4-3	笠懸運動公園			2								2
9/27	7-9	坂東大橋								1			1
		八王子山親水公園			1			1					2
10/10		〃	8		2	1	2						13
10/11		〃	9		1	1		2	1				14
種別 計			61	7	10	4	4	7	1	1	1	2	98

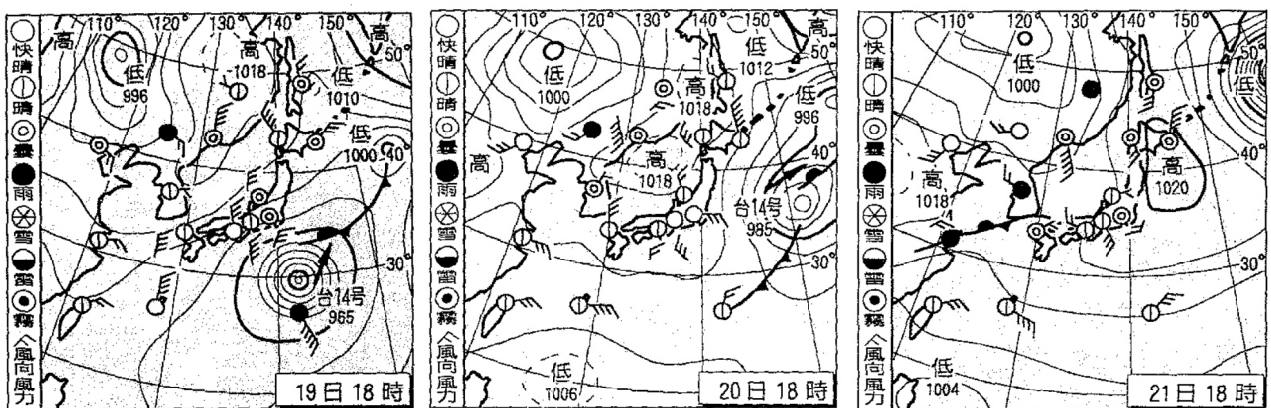


図1 9月19日～21日の天気図

・牛伏山は「天候に恵まれ視界良好であり、多数の渡りが期待されたが、生憎の強風が吹いてしまい、結果としては不満が残る。ハチクマを除き、観察された個体はすべて遠距離であり、本観察地はタカの渡りの条件としてはあまり良くなかったようである。埼玉県方面の山が好条件だったと思われる。参加者が

非常に多く盛況だった」と葛生淳一さんは分析しています。

・大室公園は「今回、天候には恵まれたが、大変風が強く、体感温度は気温ほど感じなかった。強風のためか、タカ類の渡りの観察は皆無であった。その他の鳥類も大変少なかった」と風に悩まされた小林広喜さんの所見です。

・みどり市笠懸運動公園では「9/16～24の間、短時間ながら4回の観察を行ったが、タカ類の渡りらしきものは、その間ノスリ2回のみ（9/20－1羽、9/23－2羽）、ツバメ類の出現も極めて少ない。9/24、太田頭首工（渡良瀬川）に於いても、例年この時期、川上に移動しているツバメ類が全く見当たらず」と水野博晶さんが述べています。

・城沼は「ミサゴ2羽は渡りか、餌場の移動かわからない。タカ類の渡りの時期がもう少し後のように思われる。参考：埼玉県の天覧山、2008年は9/23、2009年は9/24にピーク」とやや不満そうなまとめは松本文勝さんです。

・桜山は「本年はタカ類の渡りが見られなかった。10：15に例年の通り東面尾根上に3羽見られたが、上昇にないまますぐに降下して尾根の下に消えた。恐らく渡りのタカと思われたが、種、方向など確認出来なかった。南西の風があり、上昇出来なかったとも考えられる」と記されています。鈴木正利さん、来年に期待しましょう。

・坂東大橋では「曇りでも困るが、快晴に強風とくれば悩ましさは倍加し、木々のざわめきに集中力も途切れがち。そんな折、不意に上空に白っぽいタカ。北西の強風に流され、あっと言う間に観察地点より南へ。カメラを反転させ、風に逆らい懸命に西へ羽ばたくのを何枚か撮っていると、視界の隅に同じコースを1羽続いていく。これもハチクマで、こちらは風切羽が何枚か抜けていた。（写真のできは×でした。）」と小茂田英彦さんの臨場感のあるレポートです。

・渋川市総合公園は「今回、渋川分会として初めて正式に参加した。利根・吾妻ルートの解明は、分会としても長年の課題であり、ルートの確認を期待して臨んだが、残念ながら未確認に終わった。仮に利根・吾妻ルート（このポイントでは3ルートが考えられる）とすれば、調査ステーションは非常に視界が良く、数kmから数十kmは見渡せる。実際に数km先を

飛翔するタカ類の識別も充分に出来た。今後の調査に期待したい」と意欲的な飯塚博文さんの記述が印象的です。

・八王子山親水公園では「このあたりが私の普段の散歩コースになっていました。たまたまここで渡って行くサシバとハチクマを見て、休みを利用して観察してみようと思いました。観察地点の真北に金山があり、タカの仲間はその目掛けて飛来して上昇し、渡って行くものと思っています」とバイタリティーにあふれる金子正さんの観察が続いています。

一斉観察日以外の日毎の記述は表2と重複するので止めることにしました。ご了承下さい。しかし、特記すべき月日の記録についてはこの限りではありません。（観察者の所見が必要です。）

この秋のタカの渡りの観察では、坂東大橋*、八王子山親水公園、及びみどり市運動公園の3か所で複数日の記録が得られました。継続して記録を取られた三氏の尽力に心から謝意を表します。2010年もよろしく願います。*別掲のまとめの報告を参照下さい。

八王子山親水公園のタカの渡り観察地点の発見は、10数年に渡る多点観察の方法に新たな視点を与えてくれるものと思われまます。幾多の先例にもあるように、そのような場所はたまたま見つかるということが多いようです。野鳥に興味を持った人が、ふと見上げた空にタカが渡っていた…。それが切っ掛けとなったと金子さんは述べています。県内に、まだ知られていないタカの渡りのポイントがいくつもあるのではないかと期待に胸が膨れる思いがしています。日本野鳥の会の会員は言ってみれば点にしか過ぎません。しかし、野鳥に関心のある人というのは意外に多く、色々なことを見聞きしているものです。支部の秋のタカの渡り多点観察会も、辛抱強く実施してきた御陰でここまでの成果(?)を挙げることが出来ました。この間、幾多の試みがなされ、タカの好きな会員も着実に増えてきて

いるように思われます。

今年から正式に参加された渋川分会の今後の活躍に期待すると共に、太田分会の正式参加を切望してやみません。

終わりに、本観察会に参加された方々、並

びにデータを提供して下さった皆様に厚く御礼申し上げます。（まとめ 堀口忠男）
<データ提供者>（敬称略）

小茂田英彦（伊勢崎市）、水野博晶（桐生市）、金子正（太田市）

2009年秋のタカの渡り（坂東大橋）

小茂田英彦

調査日以外の観察概要は以下の通りです。

9月11日（金） シギ・チドリ観察のため岸辺にいと、北の比較的低いところをこちらに向かってタカが飛んでくる。「いつものノスリか」と思って双眼鏡で見るとサシバだった。そのまま羽ばたきに滑空を交え、頭上を越え南側へ。とたんにヤナギの木々に遮られ、その後見失う。天気も回復の兆しで、タカの観察に切り替える。

ノスリはもう3羽住み着いてしまい、オオタカの若鳥も高いところに出たりして紛らわしい。それでもそんなノスリが絡んでくれてようやく11時25分ハチクマ1羽（写真1：右ノスリ）。そのまま南西へ飛去。

13日（日） 10時頃からようやくノスリ、トビが帆翔を始める。いつの間にかノスリの近く



に小さなタカがいる。ツミのようだ（写真2）。これまで観察したことはないが、消去法でいくとそこに帰結する。（翼先分離も5である。）しばしノスリと戯れた後、南へ飛去した。
19日（土）、21日（月） その他各1羽は、気づい

表1 日別、種別観察数

	ハチクマ	サシバ	ノスリ	その他	計	備考
9/11	1	1			2	
9/13				1	1	ツミ？
9/19				1	1	不明
9/20	2				2	
9/21				1	1	不明
9/22	1				1	
9/23						
9/26						
9/27				1	1	チュウヒ
合計	4	1		4	9	



た時には既に後ろ姿になってしまい、また一度も帆翔せず羽ばたきと滑空で南西と南へ飛去。

22日(火) 予報より天気は良くて、上空に少し青空も見える。8時40分、白い雲をバックにハチクマ1羽、南西へ滑空した後帆翔する。10時頃から白い雲が広がり、以後はサッパリ。

23日(水) 曇り。トビ、ノスリが高いところで帆翔するが見られず。

26日(土) 少し上空に青空が覗くが見られず。

27日(日) 曇り。9時40分上空に1羽。スコープで見るが、曇天で下面がよくわからない。ハチクマと思っていたが、鳥友のデジタル画像によりチュウヒと確認出来た。南東の微風にも乗り南西に飛去。以降飛ばず。

今年は9日間で計36時間観察してみたが、9羽しか見られなかった。秋霖もない安定した日和が渡りを分散させたのかも知れない。